



5/3～5 九谷茶碗まつり

5/4 シングルファミリー子ども食堂



5/5 珠州市大谷仮設住宅炊出し支援

5/6 珠州市現地支援

5/7 市内能登避難者じんのびカフェ



5/9 三道山子ども食堂から社協に生活支援弁当お届け

5/10 のみり子育てネットワーク フリマ

5/11 市内能登避難者じんのびカフェ&パントリー



5/12 珠州市現地支援 保育園にポケモン財団から 能登支援の拠点 セカンドハーベストジャパンさん

5/16 三道山子ども食堂 藤井肉店さんから和牛

5/17 能登支援フォーラム



5/18 三道山町民運動会

5/19 宮竹小学校福祉体験授業

5/20 オール加賀会議

5/20 市内能登避難者とピアノコンサート参加



5/21 能登現地支援まわり

5/24 能美市赤十字奉仕団と宝達志水町赤十字奉仕団で珠州市若山地区炊出し



5/25 吉光町バーベキュー大会

5/28 能登現地支援 公民館での料理教室の応援

5/29 県民スポーツ大会能美市結団式



6/1 能美市民スポーツ大会トランポリン競技

6/4 市内能登避難者じんのびカフェ

6/6 シングルファミリー子ども食堂

6/7 市社協に生活支援弁当

思いが叶う能美市に！

令和7年 第53号

市内全戸配布版

～能美市政報告～絆 きずな

能美市議会議員

たなか さくじろう

田中 策次郎



6月議会質問

- 災害時の受援力の強化について
- 保育サポーターの導入を
- 外国人の働きやすい環境づくりについて



能美市議会 YouTube

田中策次郎6月議会一般質問

令和7年6月25日に能登への炊出しや物資支援が100回となりました。

これからも、能登への見守り支援やコミュニティづくりを続けます！

カレーバンマン声優の能美市観光大使 柳沢三千代さんが100回の節目に能登応援で参加

訪れた公民館や被災者宅、小学校や保育園でたくさん笑顔を頂きました



令和7年7月の活動



7/25 湯谷町防災講演

7/25 寺井ほがらか会

7/27 市内避難者カフェ&パントリー

7/29 被災地の子どもの居場所づくり会議



6/8 能美市自衛消防団技能演習



6/9 能登現地支援 小学校・仮設住宅・集会場訪問



6/10 能美市身障者協会根上支部のバス遠足介助



6/15 第15回市内避難者カフェ&パントリー



6/16 男女共同参画週間啓発



6/17 辰口中央小福祉体験授業



6/19 能登現地 見守り支援 99 回目



6/20 三道山子ども食堂



6/22 能美市消防団総合訓練



6/22 県民スポーツ大会ソフトテニス競技



6/25 能登現地支援 100 回目



6/27 寺井ほからか会



6/27 福岡小学校福祉体験授業



6/28 地域共生館まつり



6/30 加賀5市 議長OB会



6/30 市社協に生活支援弁当



7/1 湯野小学校 車いす&妊婦体験福祉授業



7/2 市内能登避難者じんのびカフェ



7/4 三道山子ども食堂&スクール



7/5 県民スポーツ大会開会式&スポーツ功労者表彰



7/6 県民スポーツ大会トランポリン競技



参議院選挙能美市遊説



7/8 能登現地支援&セカンドハーベスト中能登拠点☆



7/13 のみ環境フェスタ



7/15 粟生小学校福祉授業



7/17 市内避難者じんのびカフェ



7/17 能登現地 102 回目 集いの場と見守り支援



7/19 土用の丑の日



7/23 能登現地 103 回目見守り支援

●災害時の受援力の強化について

大規模災害に多くの応援職員が支援に来られても役割を明確にしておかなければ支援が無駄になってしまう事になる。市職員も被災者でありながら、通常の業務に加え、安否確認や被災者の生命を守り、避難所運営や支援物資受け入れ・罹災証明などの多くの災害対応業務を迅速にこなさなければならない。これには受援力の強化が必要で、受援体制の明文化と、受け入れをする能美市の職員が平常時に防災力を向上させ、応援職員に役割を的確に指示できるようなリーダーシップ力が求められる。大規模災害における受援計画の構想と、市の職員の防災力の向上についての取り組みを問う

答 飯田 重則 副市長

市地域防災計画では、受援計画の策定に当たり、応援要請や受け入れ体制の整備、訓練等を通じた災害時における円滑な受け入れ等を盛り込むことを規定している。これに基づき、市では業務継続計画の中で災害対策本部内に受援班を設置することや、想定される受援対象業務を定めている。6月補正予算では、外部からの応援人材が災害対応業務に従事するスペースとして、新たに建設する本庁舎防災・機能強化施設内に大規模災害に備えた受援活動の拠点を整備する。また、応援職員等の業務が円滑に効果的に行われるよう、市職員の受援能力を高めるため、家屋の応急危険度判定や罹災証明の発行、物資の仕分といった受援対象業務ごとに受け入れ業務の訓練にも取り組んでいく。



●保育士の働きやすい環境づくりに保育サポーターの導入を

保育士さんの仕事の軽減と、多くの大人がゆとりをもって見守り、園児をのびのびと育てる環境づくりのために地域の方々を協力者とする保育サポーターを取り入れられないか。他のいくつかの自治体でも保育サポーターを取り入れているところがあります。仕事内容は「乳幼児の保育、見守り」「園舎内の清掃、美化に関する業務」「保育準備等」「配膳・下膳等の補助業務」「施設外保育中の交通安全等見守り」「季節行事への協力」「施設の軽微な修繕や草刈など」「農園作業の指導」「玩具作り」「読み聞かせ等の各種体験など」とあり。地域の方に日々の業務を協力して頂ければ、保育士さんの負担軽減と園児に向き合う時間が増えると考えます。



答 川本 素子 健康福祉部長

公立認定こども園では、朝の園児受け入れや昼食など多忙な時間帯には、短時間勤務の会計年度任用職員が保育補助者として、保育の準備や見守り、配膳や食事介助など補助業務をサポートしている。地域の方々には、園での農園作業や和太鼓、丸いも苗植え体験など、多くの協力をいただいている。敷地全体の草刈りは専門の業者に委託しており、現在委託先のシルバー人材センターによる清掃業務に、日々の除草作業を追加するなど、委託内容の見直しを行う。今後も地域の協力を得ながら、質の高い保育を目指すとともに、保育士の働きやすい環境づくりに取り組む。



●外国人の働きやすい環境づくりについて

日本で必要と考えられる外国人労働者の推計値では、日本で就労する外国人の推計値は2040年には97万人不足と言われており。市内に多くの企業を持つ能美市でも、現在多くの外国の方が働き企業の戦力となり、外国人労働者は企業存続に欠かせない人材となっている。外国人労働者の確保に官民が連携し、市全体として取り組む必要がある。外国人労働者やその家族が安全安心に生活するため、外国人労働者と市内企業をつなぐ労働者サポート事業に加え、能美市が外国人労働者から選ばれるように働きやすく住みやすい地域づくりを進める事が必要と考えるが、具体策を求める。

答 井出 敏朗 市長

日本国内においては、少子・高齢化、人口減少に伴う労働力の減少から人手不足が恒常化し、外国人労働者の受け入れが拡大する中、円安傾向の影響も受け、製造業や医療、福祉、観光など外国人労働者獲得競争は厳しい状況にある。企業への聞き取りからも、外国人労働者を雇用する企業、外国人労働者数ともに増加傾向にある。外国人労働者が安全・安心に生活するため、能美市国際交流協会に委託をし、企業の経営者、町会・町内会の方々が多文化共生社会の認識を深め、外国人住民の課題をサポートできる体制づくりに取り組んでいく。課題に対し市役所が一丸となって取り組むため、今年度からは、縦割りではない、分野を越えた横断的取組を推進するための組織横系プロジェクトチームにおいて、外国人住民に関する課題分析や支援が必要な事業整理の準備作業を実施し、令和8年度に予定する総合計画や総合戦略の見直しにもつなげていく。能美市国際交流協会、町会・町内会、外国人労働者を必要とする企業、事業者などの関係者と連携をし、外国人にやさしいまちづくりを推進し、多文化共生社会を実現することで、外国人住民を含む全ての人が安全・安心に暮らすことができる社会「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」を目指していく。



ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆
ご返答希望の方は連絡先をお忘れのないように願います。

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町チ 16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail 3926@nomi-city.net http://3926jp.net



議会 YouTube 配信
意見交換会や
本会議の中継を
発信しています